

(別添 1)

事業評価の結果（共通項目）

福祉サービス種別 保育所
事業所名（施設名）中佐都保育園

第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【保育所】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況=多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
I 福祉サービスの基本方針と組織	1 理念・基本方針	(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 理念、基本方針が文書（事業計画等の法人（保育所）内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等）に記載されている。 ■ 2 理念は、法人（保育所）が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人（保育所）の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。 ■ 3 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。 ■ 4 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。 ■ 5 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。 ■ 6 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。 ■ 7 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。 	<p>○佐久市保育理念「子どもの最善の利益を考慮し、健全な心身の発達を図り、生きる力の基礎を培います。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を援助します。 ・保護者の気持ちを受け止め、ともに子育てをします。 <p>○園の理念「ひとりひとりの子どもの育ちを支えます」「地域の方々と共に保護者の子育てを支援します」</p> <p>○「市の理念」に基づき「園の理念」を作成し、保育目標、園の願いが明文化され、分かりやすく図式化されていました。</p> <p>○理念や目標は職員会で作成され、年度の重点活動とした職員の行動規範となる具体的な内容になっていました。</p> <p>○理念に基づいて作成された「基本方針」「保育目標」は、入園のしおり・パンフレットや広報紙の「園だより」として絵や図式化され保護者や園児も興味を持つ工夫がされていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント	
2	経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a)	■ 8	社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	<p>○社会福祉事業全体の動向は、地域の福祉・保育の需要動向等について、佐久市の「公立保育園の在り方」等記載されており、把握・分析されていました。</p> <p>○佐久市基本計画に、地域の子ども数・利用者像・保育ニーズに関するデータも詳細に把握されており、保育事業経営を長期的な視野に立って展開されていました。</p> <p>○経営状況の分析は、市の子育て支援課で、保育内容や組織体制、職員体制、人材育成、財務状況の現状分析が適切に行われていました。</p>
					■ 9	地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	
					■ 10	子どもの数・利用者（子ども・保護者）像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人（保育所）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	
					■ 11	定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。	
		(2) 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a)	■ 12	経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	<p>○佐久市基本計画、第二次総合計画前期の主な取り組みに、子育て支援サービス・保育サービスが記載されており、経営環境や保育内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人事育成、財務状況の現状分析が行われ、具体的な課題や問題点を明らかにされていました。</p> <p>○副園長や主任保育士は、毎月定期的に関催されている市の園長会、主任保育士会に参加し、経営・課題や解決・改善の取り組みを具体的に進めていました。</p>
					■ 13	経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。	
					■ 14	経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	
					■ 15	経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント		
	3 事業計画の策定	(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a)	■ 16	中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標（ビジョン）を明確にしている。	○中・長期計画は、佐久市子育て支援課計画として、平成27年から5か年計画として策定されていました。 ○中・長期計画は「すべての子どもが健やかに成長できる地域社会の現実に向けて取り組みを推進します」とされていました。	
					■ 17	中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。		
					■ 18	中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。		
					■ 19	中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。		
			② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a)	■ 20	単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。		○中・長期計画は、市の保育理念に基づき、当園の保育目標が掲げ、分野ごとに内容が記載されていました。 ○年度の重点目標・研究テーマを設け、取り組みは実行可能な計画になっていました。
					■ 21	単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。		
		(2) 事業計画が適切に策定されている。	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価 ・見直しが組織的に行われ、職員が理解している	a)	■ 22	単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○事業計画には、研究テーマがあり、取り組みの振り返りもされていました。特に本年度は「心が満たされ、素直に気持ちを表して過ごせる子の育ち立ちを願って」とされ取り組みがされていました。 ○事業計画の策定は、年度末に全職員で計画の見直しが行われ、市の子育て支援課に提出する手順が設定、協議される仕組みがありました。 ○事業計画は、年度当初に昨年度に評価見なおされたものを基に、職員会で計画立案されていました。	
					■ 23	単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。		
					■ 24	事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。		
					■ 25	計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。		
					■ 26	事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。		
					■ 27	評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。		
■ 28	事業計画が、職員に周知（会議や研修会における説明等）がされており、理解を促すための取組を行っている。							

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 29 事業計画の主な内容が、保護者等に周知（配布、掲示、説明等）されている。 ■ 30 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。 ■ 31 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。 ■ 32 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。 	<p>○事業計画は、保育園パンフレット（園だより・だんご通信）・入園のおしり・広報紙に記載され、配布されていました。保護者等には入園式等に、説明し周知を図る取り組みがされていました。</p> <p>○行事計画は、保育園だより・だんご通信・年間予定表にて保護者に周知が図られていました。</p>
	4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 33 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。 ■ 34 保育の内容について組織的に評価（C: Check）を行う体制が整備されている。 □ 35 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。 ■ 36 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。 	<p>○保育の質の向上への取り組みは、副園長、主任保育士が主になり、市園長会作成の保育園職員としての心構えを基に、保育を円滑に進めるために、職員（保育士）としての自覚を持ち、職員同士が意思の疎通を十分に測り、親が子育ての喜びと自信を得ることが、支援の目的と考え皆で明るく楽しい園にしているために努められていました。</p> <p>○自己評価は、市の子育て支援課が一体的に実施し、分析・評価が行われるなど組織的に取り組まれていました。</p> <p>○第三者評価は、今回が初めての受審でした。評価結果の分析・検討に取り組まれ、保育の質の向上に、継続的な取り組みに期待します。</p>
			② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 37 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。 ■ 38 職員間で課題の共有化が図られている。 ■ 39 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。 □ 40 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。 ■ 41 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。 	<p>○自己評価の結果について副園長と面談時、課題や改善点について、職員と共有し改善の取り組みがされていると確認が取れました。</p> <p>○第三者評価の結果については、保護者や職員の意見を参考に改善や改善策を必要に応じ、実施されることを期待します。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント			
II 組織の 運営管理	1 管理者の責任とリーダーシップ	(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a)	■ 42	施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○副園長は、園長業務も含め与えられた職務の中で責任と役割について職務分担表に明記し、職員会で表明されていることが会議録で確認が取れました。 ○副園長は、市の園長会等会議や研修に出席されていました。入園式など対外的園長職の役割と責任を果たしていました。 ○災害時等有事の際は、園長の役割と責任が記載され、不在時の権限も災害マニュアルに記載されていました。		
					■ 43	施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。			
					■ 44	施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。			
					■ 45	平常時のみならず、有事（災害、事故等）における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。			
					■ 46	施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者（取引事業者、行政関係者等）との適正な関係を保持している。			
		(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a)	■ 47	施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○保育所として厳守しなければならないことは、市からの基本的法令に基づき適正な関係が周知されていました。 ○副園長は、法令厳守のために市組織で行われる園長会や各種研修に参され、法令への取り組みを行い職員会や資料により、職員に周知を図っていました。		
					■ 48	施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。			
					■ 49	施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。			
					a)	■ 50		施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	○副園長及び主任保育士は、保育目標に基づき保育の質の向上に課題を把握し、職員会等で改善の取り組みがされ記録されていました。 ○当保育園では保育の質の向上のために、子どもが夢中になって行う太鼓活動を中心に、やさしいたくましい「なかさとっ子」を願っていました。 ○聞き取り調査で、積極的に和太鼓活動を行い、年長児は責任と忍耐と役割を持つ、年中児はいつか太鼓をたたきたい憧れと尊敬を感じ、園の保育目標、工夫して遊ぶ子を目指し保育の質向上に取り組まれました。保育の質の向上のために保育理念、目標、園の方針、園の願いなど具体的取り組みを主任保育士を中心に研修し向上を図っていると確認できました。
						■ 51		施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	
■ 52	施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。								
a)	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	■ 53	施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。						
		■ 54	施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。						

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a)	<p>■ 55 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事・労務、財務等を踏まえ分析を行っている。</p> <p>■ 56 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。</p> <p>■ 57 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。</p> <p>■ 58 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。</p>	<p>○副園長は、市の子育て支援課の指導のもと経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事・労務・財務等の分析を行いました。</p> <p>○経営改善の人事管理・労務管理・財務管理は、市の子育て支援課が一体的に管理していました。</p>
	・2育福祉人材の確保	(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b)	<p>■ 59 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。</p> <p>■ 60 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。</p> <p>■ 61 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。</p> <p>□ 62 法人（保育所）として、効果的な福祉人材確保（採用活動等）を実施している。</p>	<p>○人材確保・育成計画・人事管理は市の担当部署で一括管理されていました。</p> <p>○専門職の配置等人材確保は市の人事に依頼、育成に努め、協力をされていました。</p>
			② 総合的な人事管理が行われている。	b)	<p>■ 63 法人（保育所）の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。</p> <p>□ 64 人事基準（採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準）が明確に定められ、職員等に周知されている。</p> <p>■ 65 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。</p> <p>■ 66 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。</p> <p>■ 67 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。</p> <p>■ 68 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。</p>	<p>○総合的な人事管理は、市担当部署で行われ総合的な人事管理制度に基づき、一体的に運営管理されていました。</p> <p>○人事基準は佐久市職員人事評価実施規定に明記され、職員処遇基準、人事考課制度、目標管理体制が導入され周知されていました。</p> <p>○人事は一定の基準に基づき行われています、職員が自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができていましたが、一般の職員にわかりやすく理解される取り組みを望みます。</p> <p>○職員の処遇、処遇改善、意向・意見や評価はされていますが、職員に理解と処遇改善がされることを働きかけ、満足されるような検討を期待いたします。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 69 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。 ■ 70 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。 ■ 71 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。 ■ 72 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。 ■ 73 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。 ■ 74 ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。 ■ 75 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。 ■ 76 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。 	<p>○職員の就業状況や意向の把握、労務管理に関する責任体制は、市の子育て支援課規程に沿って行われていました。</p> <p>○職員の有給休暇管理、時間外労働管理等就業状況や意向の把握は副園長や主任保育士が対応していました。</p> <p>○副園長は職員の心身の健康と安全の確保、ワークライフバランスに配慮した職場作りをされ、積極的に職員に関り、日常的に意見や提案を聞くようにしていました。</p> <p>○市全体でメンタルサポート体制が整備され、働きやすい職場作りがされていました。</p>
		(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 77 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。 ■ 78 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。 ■ 79 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。 ■ 80 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。 ■ 81 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。 	<p>○理念・基本方針、保育目標の保育所全体の目標や職員の一人ひとりの目標の統合を目指す、目標管理体制が導入され、市の子育て支援課が一体的に管理実施されていました。</p> <p>○職員一人ひとりの目標設定は年度初めに、副園長等個別面談により行われ、年度末にも目標管理シートにより進捗状況、達成状況を確認するため面接が行われていました。</p> <p>○職員一人ひとりの目標は、園独自の重点目標や研究テーマを基に作成されており、毎日の保育に添って経過や達成度が確認しやすくなっていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 82 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。 ■ 83 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。 ■ 84 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。 ■ 85 定期的に計画の評価と見直しを行っている。 □ 86 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。 	<p>○「期待される職員像」は基本方針・保育目標・計画に則り、市の子育て支援課の新任・中堅・管理職の研修体系に基づき計画的に実施されていました。</p> <p>○職員の教育・研修は年間行事予定表に示され計画に沿って実施されていました。</p>
			③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 87 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。 ■ 88 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。 ■ 89 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。 ■ 90 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。 ■ 91 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。 	<p>○市の子育て支援研修を基に作成された、年間予定表の研修は、新任職員、経験年数等配慮され研修が実施されていました。</p> <p>○内部研修、外部研修の伝達研修も行われ、全職員に周知されるよう図られていました。またその研修に参加できなかった職員には報告書の活用を行っていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 92 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。 ■ 93 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。 ■ 94 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。 ■ 95 指導者に対する研修を実施している。 ■ 96 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。 	<p>○実習生の受け入れについては、市の子育て支援課の基に受け入れが行われる体制が整っていました。</p> <p>○当園の受け入れについては、マニュアルに沿って行われ、担当保育士が行い連絡窓口、職員への事前説明、園児保護者への連絡、オリエンテーション、実習指導計画の作成をされていました。</p> <p>○毎年数名の保育実習生の受け入れを行い、保育専門職の育成に貢献されていました。</p>
	3 運 営 の 透 明 性 の 確 保	(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 97 ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。 □ 98 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。 □ 99 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。 ■ 100 法人（保育所）の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人（保育所）の存在意義や役割を明確にするように努めている。 ■ 101 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。 	<p>○佐久市のホームページには、子ども・子育て支援法に基づき、当園の保育運営や財務情報、職員に関する情報、教育、保育等の内容に関する情報が公開されており、運営の透明性を図る取り組みがされていました。</p> <p>○入園案内には、理念・基本方針、保育目標、事業計画がパンフレット等に記載され、保護者への情報公開がされていました。</p> <p>○第三者評価の受審は今回が初回でしたが、市子育て支援課・副園長は審査結果の公表を前向きに検討されていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 102 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。 ■ 103 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。 ■ 104 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。 ■ 105 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。 ■ 106 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。 □ 107 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。 	<p>○保育園の事務、経理、取引に関しては、市の担当部署の規定により管理されていました。</p> <p>○副園長は、規定に基づき事務、必要な消耗品の収支の管理を適切に行っていました。</p> <p>○経営、運営等は市の規定に基づき行われていましたが、外部監査、公認会計士等の指導は確認できませんでした。</p>
	4 地域との交流、 地域貢献	(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 108 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。 ■ 109 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。 ■ 110 子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。 ■ 111 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。 ■ 112 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。 	<p>○当保育園の保育理念に地域との連携が謳われており、育成会活動の参加がありました。地域とのかかわりの機会は、育成会が中心になり、護摩焚き、花祭り、七五三祭、和太鼓の地域イベント参加が行われていました。地域交流を行うことで子どもへの理解、関心が高まり、保育園の願いでもある「心豊かに育てほしい」は地域の方々と共に子育て支援が行われ、ボランティアとの関りも大切にされていました。</p> <p>○年間行事予定にも様々な地域交流が計画されていました。社会資源の活用が適切に行われていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 113 ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。 ■ 114 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。 ■ 115 ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。 ■ 116 ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。 ■ 117 学校教育への協力を行っている。 	<p>○ボランティアの受け入れは、中佐都保育園のパンフレットにも記載されています、地域の方、小学生、中学の交流もあり受け入れについて明文化されていました。</p> <p>○小・中学生の受け入れは、学校と調整を行い事前説明等マニュアルが整備され連携ができていました。</p> <p>○隣接する小学校、児童館との関りがあり、小学校五年生は、保育園訪問し餅つき等行っています。年長児も学校体験で、交流を楽しんでいました。</p>
		(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 118 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。 ■ 119 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。 ■ 120 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。 ■ 121 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。 ■ 122 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。 ■ 123 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。 	<p>○小学校や児童館、民生児童委員、図書館、地域の神社の関りが年間行事予定表に記載され交流が計画されていました。</p> <p>○当園では、育成会の協力で伝統文化の和太鼓活動が行われていました。民生児童委員とは情報の共有もされていました。</p> <p>○虐待等権利侵害については、市子育て支援課より「児童虐待調査シート」が配布され、早期発見のためのチェックリスト、心的トラウマのチェックリストの活用が確認できました。特に一時保護決定に向けてのアセスメントシートも有り、要保護児童対策地域協議会、児童相談所との連携がしっかりとれていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 124 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。	○園の一角に未就園児が週3回園生活を体験できるスペースが設けられ、園庭の開放も行っていました。 ○地域の子育て支援に関する相談は、副園長が未就園児活動に参加され、子育ての大変さや、楽しさ、子どもと共に成長を喜ぶことを話されたり、児童館、市の保健師、臨床心理士、民生児童委員に相談できる事、連携をとるなど適切な仕組みがありました。
					<input type="checkbox"/> 125 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。	
		(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 126 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。	
					<input checked="" type="checkbox"/> 127 災害時の地域における役割等について確認がなされている。	
		(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 128 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。	
					<input checked="" type="checkbox"/> 129 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。	
		(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 130 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	○保育所は、地域社会における福祉の向上の役割を果たすために、地域の具体的な福祉ニーズを把握し、これに基づき保育所独自の公益的事業・活動を積極的に行うことが求められています。地域交流行事等において、アンケート調査の実施やニーズの把握を行い、ニーズに基づいた保育所の公益的事業・活動に、さらなる取り組みを期待します。
					<input checked="" type="checkbox"/> 131 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	
		(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 132 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	
					<input checked="" type="checkbox"/> 133 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
		(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b)	<input type="checkbox"/> 134 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の福祉サービス	(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 135 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。 ■ 136 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。 ■ 137 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。 ■ 138 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。 ■ 139 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。 ■ 140 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。 □ 141 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。 ■ 142 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。 	<p>○理念や基本方針、保育目標は、子どもを尊重した保育についての基本姿勢が明記されていました。事業評価の調査等では、大方の職員の理解がみられました。</p> <p>○理念は、子どもを尊重した内容になっており、一人ひとりの子どもの育ちを支えています。地域の方々と共に保護者の子育てを支援し、個々の子どもに応じた、発達を応援する保育課程が確認できました。</p> <p>○子どもの尊重や基本的人権に関する園内研修は、定期的に行われていました。特に身体拘束、児童虐待に関する保育の実施には、文書化された資料があり周知徹底が確認できました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 143 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。 ■ 144 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。 ■ 145 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。 ■ 146 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。 ■ 147 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。 ■ 148 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。 ■ 149 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。 	<p>○子どものプライバシー保護等については、マニュアルが整備され、研修も行われていました。</p> <p>○子どもの権利擁護、虐待防止に関する規定マニュアルが整備されており、「児童虐待の防止などに関する法律」により早期発見・通報の義務が規定されていました。</p> <p>○児童虐待の兆候をいち早く発見できるように子どもの様子や保護者の様子に注意を払うなど記載されていました。</p> <p>○虐待防止の取り組みは、チェックシートが作成されており、「早期発見のためのチェックシートリスト・心的トラウマのチェックシート・虐待の定義と具体的な内容・虐待の重症度判定基準・一時保護決定に向けてのアセスメントシート」等の項目が細かく確認するものが活用されていました。</p> <p>○一時保護に向けてのフローチャートの作成もあり確認ができました。</p>
	(2)	福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 150 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。 ■ 151 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。 ■ 152 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。 ■ 153 見学等の希望に対応している。 ■ 154 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。 	<p>○市子育て支援課が市内全保育所の情報をホームページや資料等で公開し、保護者には保育所選択の情報を提供されていました。</p> <p>○当園でも、パンフレットが作成され、園目標一やさしくたくましいなかさとつ子を願って一・あいさつをする子ども・ひとや物を大事にする子ども・工夫してあそぶ子ども、とわかりやすい言葉で描かれていて、絵や図案化がされ子どもも楽しく感じる内容になっていました。</p> <p>○保育所は利用希望者に必要な情報提供を行い、わかりやすく、絵や図が用いられているパンフレットができていました。また未就園児体験もできていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 155 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。 ■ 156 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。 ■ 157 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。 ■ 158 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。 ■ 159 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。 	<p>○保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、市の子育て支援課の説明資料を基に、手順や内容がわかりやすく工夫されていました。</p> <p>○説明資料は、市の子育て支援課が作成されていました。子供・子育て支援法に基づき、保育所は、利用申し込み者に対して、保育の目的、運営方針、保育内容、職員の勤務体制などの保育所選択に資する重要事項を記載された文章を交付し、同意を求められています。保育園は「入園案内」により重要事項書として変更時にも活用されていました。</p>
			③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 160 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。 □ 161 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。 ■ 162 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。 	<p>○子どもの状況や家庭環境により保育所の変更を行う場合、保育の継続性に配慮した、引継ぎ申し送りの手順が文章化されていました。</p> <p>○保育の変更時には、市の子育て支援課と連携して適切な対応がなされていました。</p>
	(3) 利用者満足の上昇に努めている。	① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 163 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。 □ 164 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。 □ 165 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。 ■ 166 職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。 □ 167 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。 □ 168 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。 	<p>○保育では職員全員で、一人ひとりの子どもが安全で安心して楽しく過ごしていることを確認し、少しでも変化があった場合は、担当保育士や主任保育士が副園長に報告する仕組みができていました。</p> <p>○当園は、年度初めに家庭訪問を行ない保護者の個々の相談や子どもの家庭での様子を取得し利用者が満足する保育を心がけていました。</p> <p>○保育は保育所だけでなく子どもの様子や保護者の意見・協力で行われるもので、利用満足度調査を行い、分析・検討を参考に保育の改善に向けた取り組みを期待します。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 169 苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）が整備されている。 ■ 170 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。 ■ 171 苦情記入カードの配布やアンケート（匿名）を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。 ■ 172 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。 ■ 173 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。 ■ 174 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。 ■ 175 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。 	<p>○苦情解決の体制は、「意見要望苦情等」のパンフレットが掲示され、第三者委員の存在を保護者等に周知されていました。</p> <p>○入園案内にも苦情解決の仕組みが明示され、保護者への説明と配布がされていました。</p> <p>○連絡ノートや送迎時に保護者からの意見や要望を把握し担当保育士が主任保育士に伝え職員に伝達されていました。解決できないときは副園長、市子育て支援課への連絡の仕組みが確認できました。</p> <p>○相談方法については、いろいろな方法や相談相手を自由に選ぶ等、保護者が自由に気軽に相談できることを明記した資料の作成や意見箱の設置等工夫の検討を期待します。</p>
			② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 176 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。 ■ 177 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。 □ 178 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。 	<p>○相談や苦情の受付は、文章にしてわかりやすい場所に掲示されていました。玄関や保護者の目につきやすい場所に掲示されていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 179 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。 ■ 180 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。 ■ 181 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。 □ 182 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。 ■ 183 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。 ■ 184 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。 	<p>○保護者からの相談や意見については、苦情解決の仕組みと一体的に運用されていました。マニュアルに基づいて、迅速に対応する仕組みがありました。</p> <p>○保育所は苦情に限らず、保育の内容や生活改善に関する意見や要望、提案を積極的に対応されることが求められています。満足度調査など活用され、さらに保育の改善に反映される取り組みを期待します。</p>
	(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 185 リスクマネジメントに関する責任者の明確化（リスクマネジャーの選任・配置）、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。 ■ 186 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順（マニュアル）等を明確にし、職員に周知している。 ■ 187 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。 ■ 188 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。 ■ 189 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。 ■ 190 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。 	<p>○リスクマネージメント体制は、副園長が責任者になっており、事故発生時の対応マニュアルは、連絡方法の手順や役割が明記されていました。園長室、各保育室にも掲示され、全職員で周知できるような取り組みがされていました。</p> <p>○緊急連絡網には、市の担当者をはじめ、消防署、警察署、保護者会長、各医療機関も含まれ詳細な資料になっていました。</p> <p>○事故対応マニュアルの実施状況や実効性については定期的な見直し評価を記録で確認できました。</p> <p>○職員に対して、安全確認・事故防止の研修が定期的に行われていました。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 191 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。 ■ 192 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。 ■ 193 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。 ■ 194 感染症の予防策が適切に講じられている。 ■ 195 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。 ■ 196 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。 ■ 197 保護者への情報提供が適切になされている。 	<p>○感染症対策については、市の子育て支援課より「保育園にお行ける感染症に対するきまり」が配布されており、対応マニュアルが作成されていました。職員にも予防と発生時の対応が周知されていました。</p> <p>○感染情報は、保育園のみならず、学校や地域での感染状況も支援課より発せられ予防策がとられていました。</p> <p>○毎年、時期になると「園だより」により保護者へ感染の情報提供や予防対策が伝わるようになったいました。</p> <p>○感染症のマニュアルには、登園の目安や医師の許可を得る決まりがあり、乳幼児保育に最新の注意がされていました。</p>
			③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 198 災害時の対応体制が決められている。 ■ 199 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。 ■ 200 子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。 ■ 201 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。 ■ 202 防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。 	<p>○災害時の対応体制はマニュアルが整備されていました。</p> <p>○防災訓練は、毎月実施され、地元の消防署の指導も受けていました。</p> <p>○防犯訓練も実施されていました。</p> <p>○火災・地震・不審者の避難マニュアルが各保育室にあり避難経路が提示されていました。</p> <p>○不審者対策の訓練や刺又の活用もされていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント	
	2 福祉サービスの質の確保	(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a)	■ 203	標準的な実施方法が適切に文書化されている。	<p>○佐久市基本計画の第一次後期の取り組みに「佐久市子ども、子育て支援事業計画」が策定し全ての子どもが健やかに成長できる、地域社会の実現に向けた推進がされていました。</p> <p>○市の第二次総合計画前期計画の主な取り組みに、保育サービスの充実が掲げられ、文章化されていました。</p> <p>○標準的保育課程の編成や指導計画は、市の子育て支援課により作成され、それに基づき標準的に子どもの尊厳、プライバシー、権利擁護が記載され、副園長を中心に主任保育士が個々に指導を行い職員に周知されていることが聞き取り調査で確認が取れました。</p>
					■ 204	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。	
					■ 205	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	
					■ 206	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	
					■ 207	標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。	
			b)	■ 208	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。	<p>○保育の標準的実施方法の憲章・見直しの仕組みがされていました。</p> <p>○標準的実施方法の見直しは職員や保護者の意見や提案に基づき、保育の質の向上につなげ、相互の共通の意識で育てるとあります。計画(目標)→実施→評価(振り返り)→改善(繁栄)が求められるかと思われます。保育の質の向上が組織的に行われることを期待します</p>	
				■ 209	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。		
				■ 210	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。		
□ 211	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。						

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 212 指導計画策定の責任者を設置している。 ■ 213 アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。 ■ 214 さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。 ■ 215 保育課程にもとづき、指導計画が策定されている。 ■ 216 子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。 ■ 217 計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。 ■ 218 指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。 ■ 219 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。 	<p>○指導計画案は主任保育士を中心に、子ども一人ひとりの発達や状況に応じた保育や、子ども・保護者のニーズを把握するアセスメントが書式に沿って作成されていました。</p> <p>○指導計画書は保育所保育指針や保育課程に基づき、一人ひとりの子どもの発達や状況・環境に応じた内容になっていました。</p> <p>○指導計画は、市の子育て支援課が作成し、保育課程に基づいたものによって具体的なニーズ等が明示されていました。</p> <p>○支援困難なケースの対応は、市の子育て支援課が実施する発達支援研究会が毎月行われ、勉強会が行われていました。</p> <p>○支援困難ケースの対応は、具体的に実施され、加配保育士と情報の共有を行い支援されていました。</p>
			② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 220 指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。 ■ 221 見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。 ■ 222 指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。 ■ 223 指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。 ■ 224 評価した結果を次の指導計画の作成に生かしている。 	<p>○指導計画は、アセスメントの計画策定、実施、評価、振り返りの仕組みが適切に行われ、子どもの様子からや保護者の意向も反映される仕組みになっていました。</p> <p>○指導計画書の見直しや振り返りは、定期的にまた必要に応じ検討され、職員に周知され保育や支援に反映されていました。</p> <p>○指導計画書は評価した結果を参考に、次年度の計画が作成されていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 225 子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。 ■ 226 個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。 ■ 227 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。 ■ 228 保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。 □ 229 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。 	<p>○子ども一人ひとりの保育や支援、発達状況は、市の子育て支援課の様式に沿って記録がされていました。</p> <p>○記録は担当職員が記録し、主任保育士、副園長が確認されていました。</p> <p>○記録は、全職員で共有の資料を見ながら一人ひとりの育ちについて話し合わせ、記録されることを望みます。</p>
			② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 230 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。 ■ 231 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。 ■ 232 記録管理の責任者が設置されている。 ■ 233 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。 ■ 234 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。 ■ 235 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。 	<p>○個人情報保護規定は、市の子育て支援の指導の下、適切に管理・保存等体制が確立され、処理されていました。</p> <p>○個人情報の扱い等については、職員研修会も定期的におこなわれ、職員の意識の高さも確認されました。</p> <p>○個人情報には、注意が図られ、漏えいに対する対応方法として、管理されている部屋を開けるときは施錠が義務づけられていました。</p> <p>○保護者には、「入園の案内」に明記され説明・周知が行われていました。</p>